

富士市の概要・現状等について

～ 富士市CNF関連産業推進構想の策定にあたって～



平成30年8月2日（木）
富士市 産業経済部 産業政策課

説明のながれ

- 1 富士市の概要**
- 2 富士市の現状(人口・財政・土地利用等)**
- 3 統計から見た富士市の工業**
- 4 市民・事業者の意向等**
- 5 行政計画(工業関連)について**
- 6 富士市のCNF関連施策・取組について**

富士市の概要



本市は、富士山からの豊かな地下水等を利用して、古くから紙のまちとして発展し、田子の浦港の築造、東名高速道路の開通などを契機に、輸送機械、化学・薬品等の企業が進出し、県内有数の工業都市として、重要な役割を果たしてきました。平成24年の新東名高速道の供用開始により、地理的な優位性が一層高まっています。

《県内市町比較:H27国勢調査》

ランク	市町	面積 (ha)
1	浜松市	155,806
2	静岡市	141,190
3	川根本町	49,672
4	富士宮市	38,908
5	伊豆市	36,397
6	島田市	31,588
7	掛川市	26,563
8	富士市	24,495
9	御殿場市	19,490
10	藤枝市	19,406

ランク	市町	人口 (人)
1	浜松市	797,980
2	静岡市	704,989
3	富士市	248,399
4	沼津市	195,633
5	磐田市	167,210
6	藤枝市	143,605
7	焼津市	139,462
8	富士宮市	130,770
9	掛川市	114,602
10	三島市	110,046



新東名高速道路



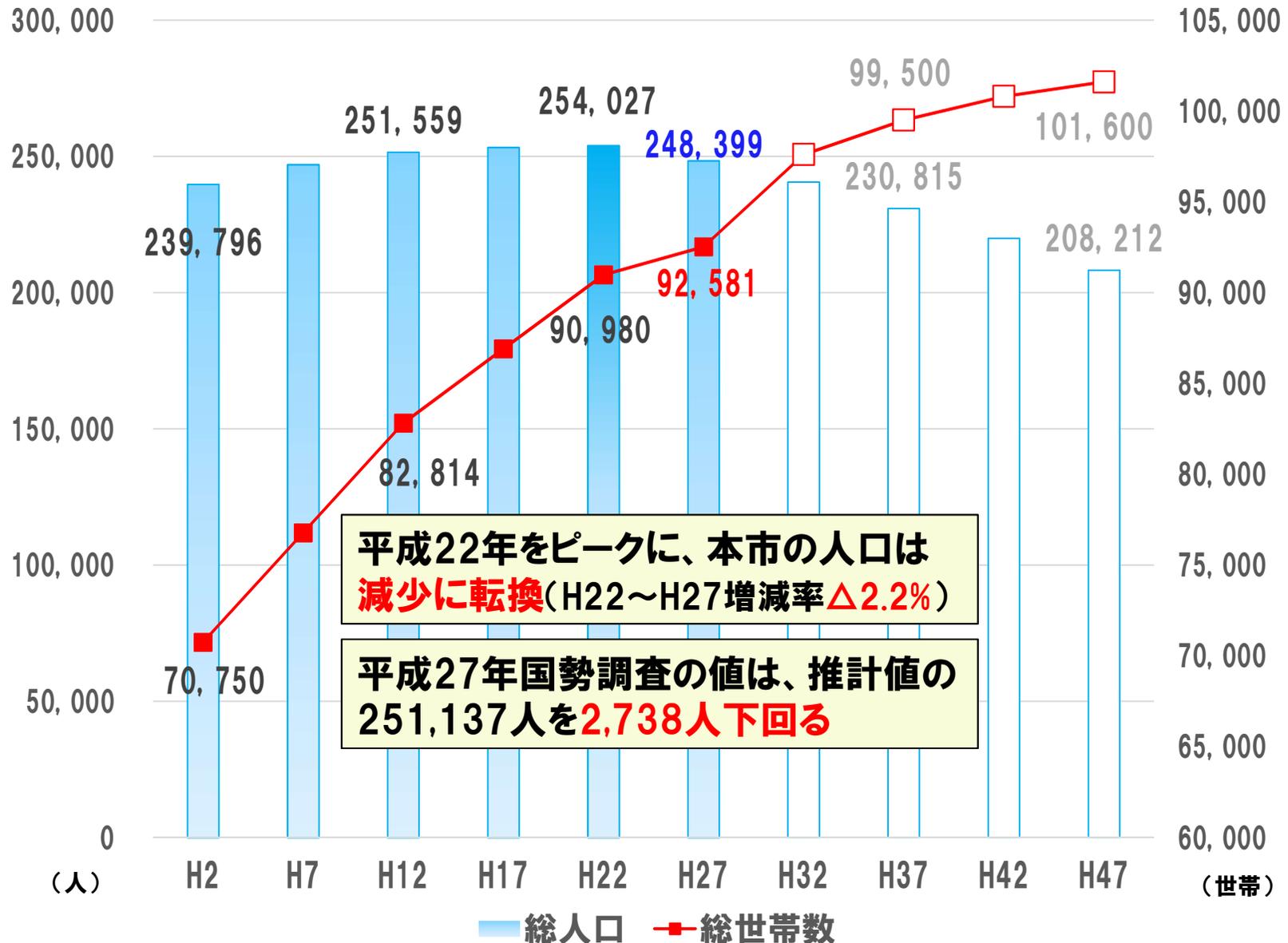
田子の浦港と富士山

《富士市の変遷等》

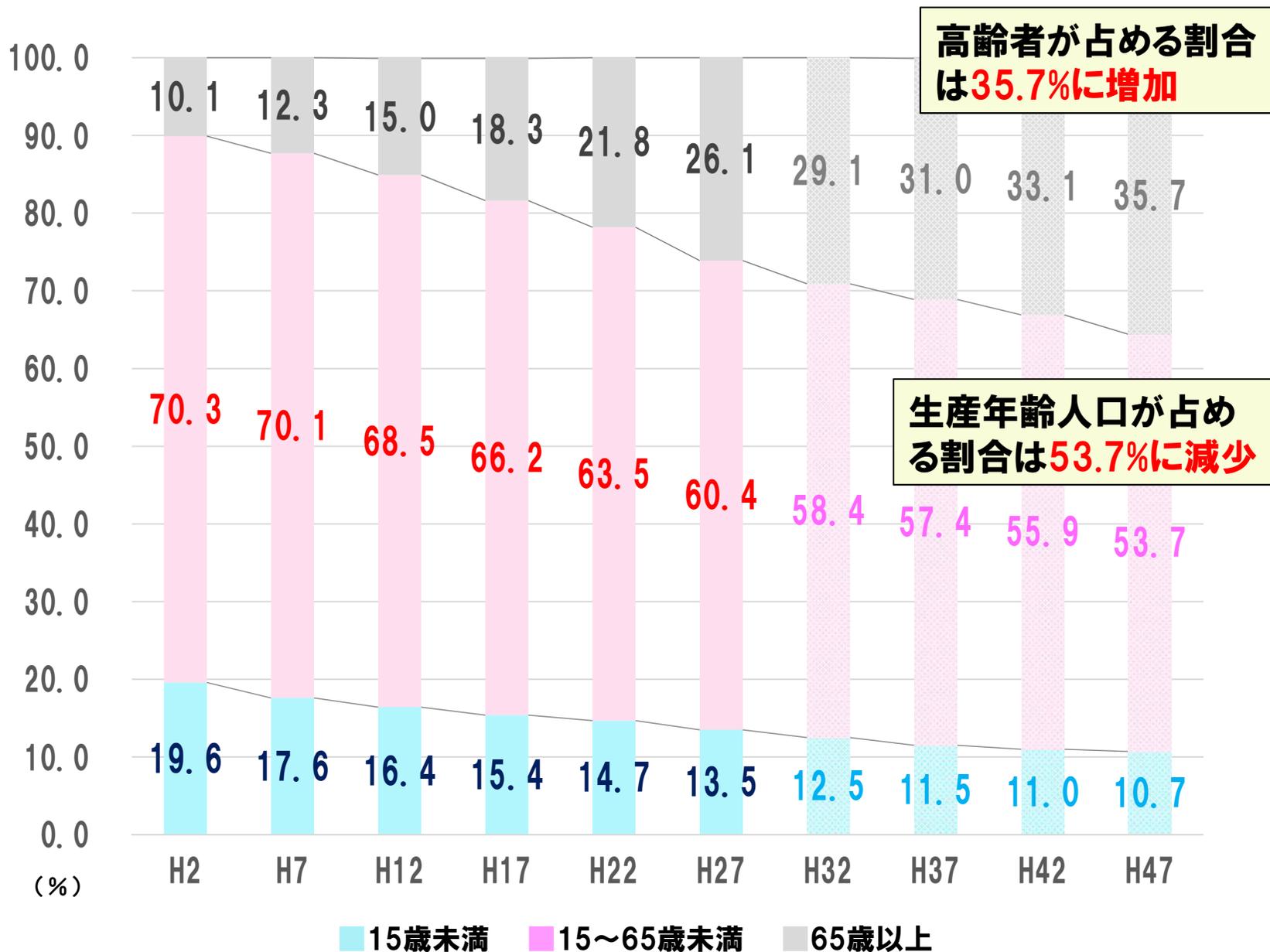
昭和8年8月	富士郡鷹岡町誕生 (鷹岡村)
昭和23年4月	吉原市誕生 (吉原町)
昭和29年4月	富士市誕生 (富士町、田子浦村、岩松村合併)
昭和41年4月	田子浦港開港
昭和41年11月	富士市誕生 (吉原市、富士市、鷹岡町)
昭和43年4月	東名高速道路富士 I C 開通
昭和63年3月	東海道新幹線新富士駅開駅
平成23年11月	庵原郡富士川町を編入合併
平成24年4月	新東名高速道路新富士 I C 開通

富士市の人口

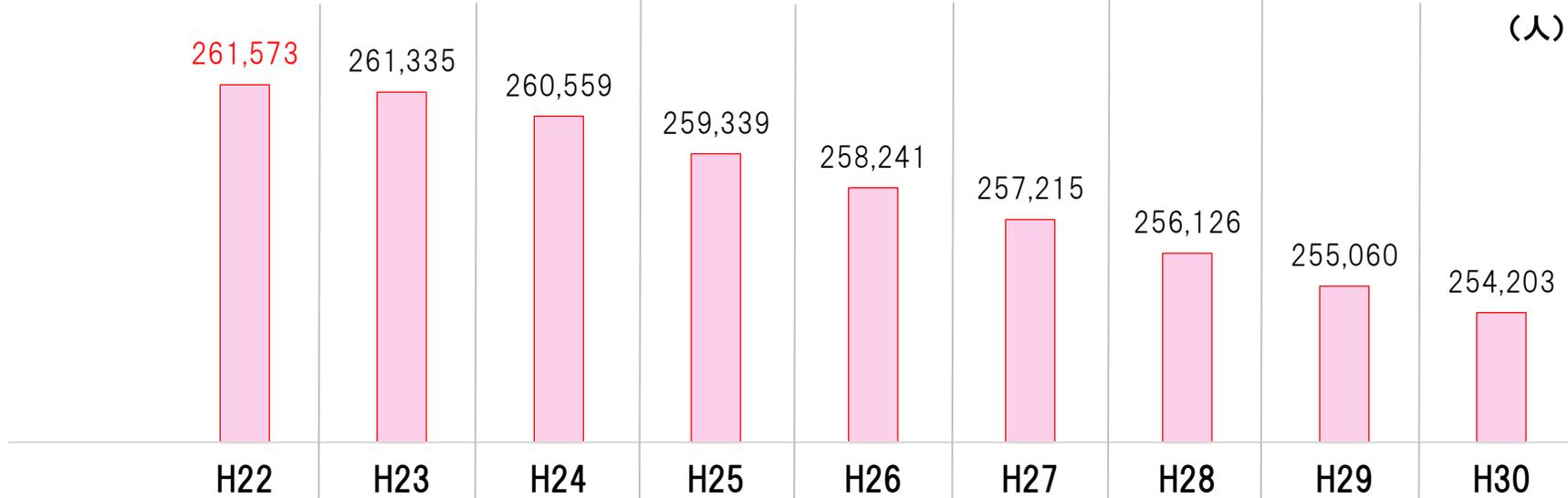
▼ 人口・世帯数の推移(国勢調査)



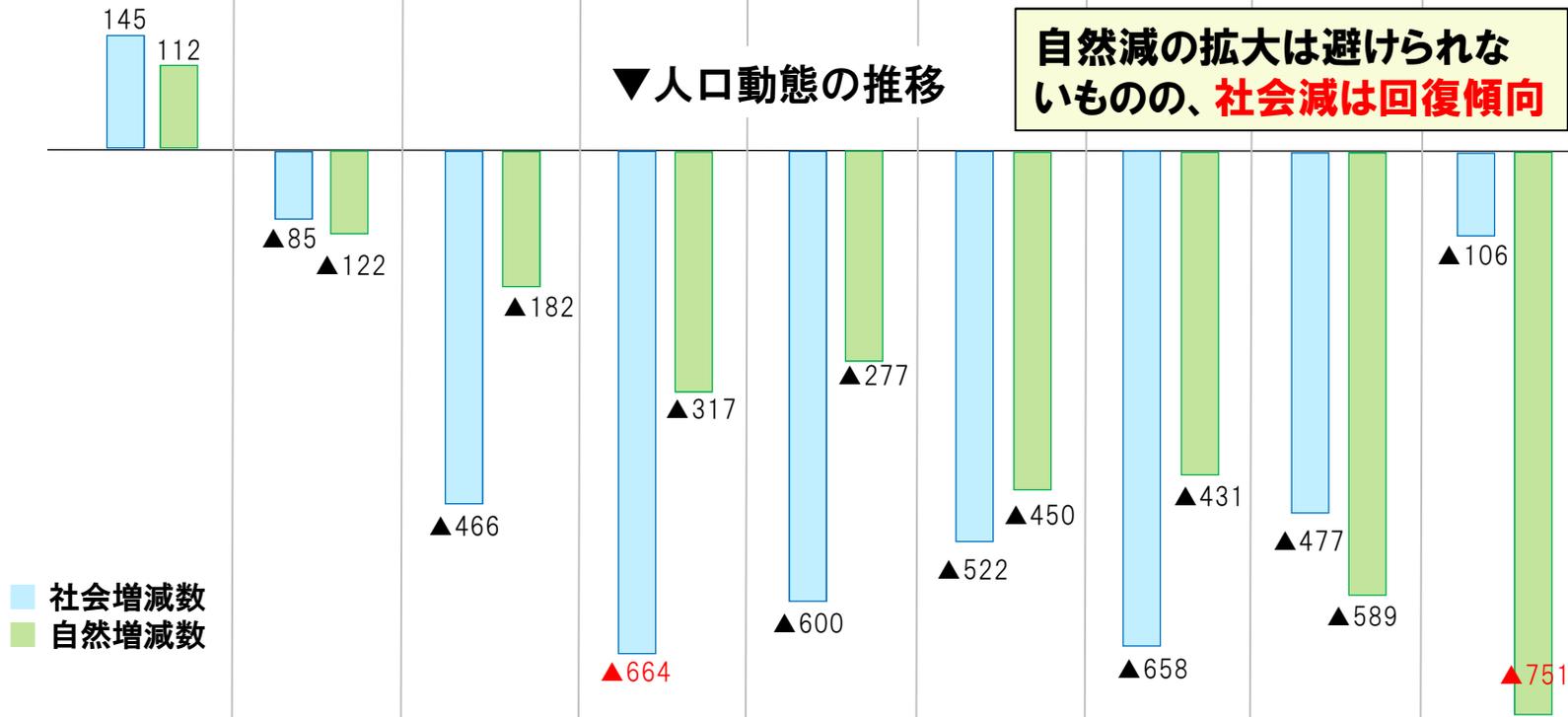
▼ 年齢構成の推移(国勢調査)



▼人口の推移(住民基本台帳)

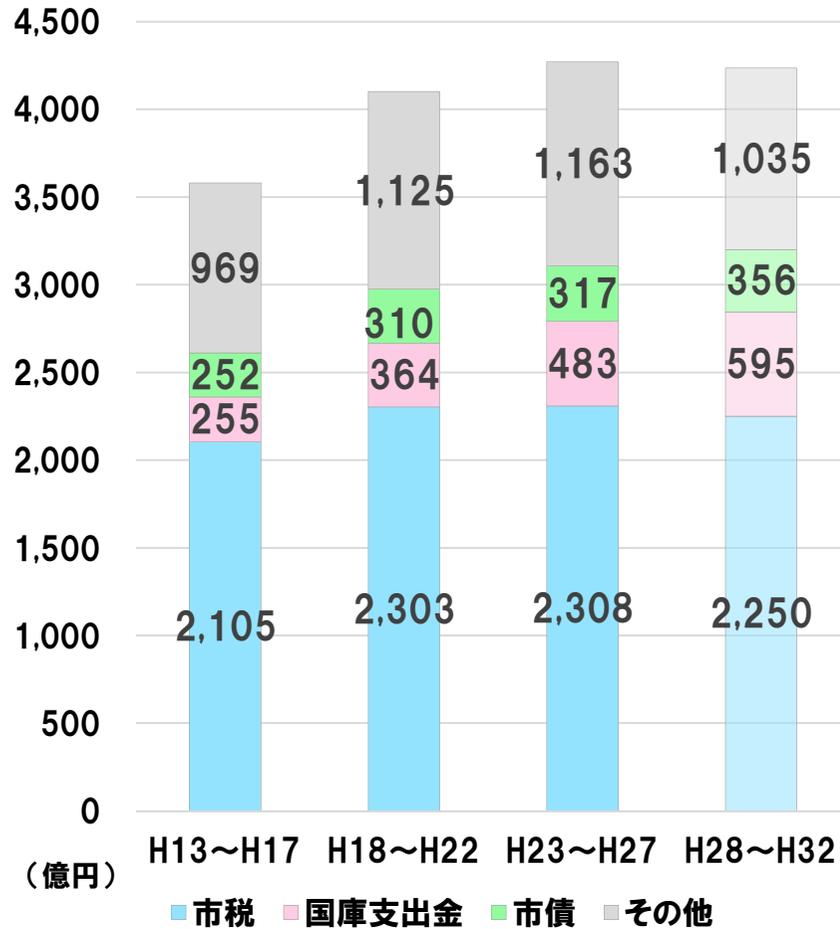


▼人口動態の推移

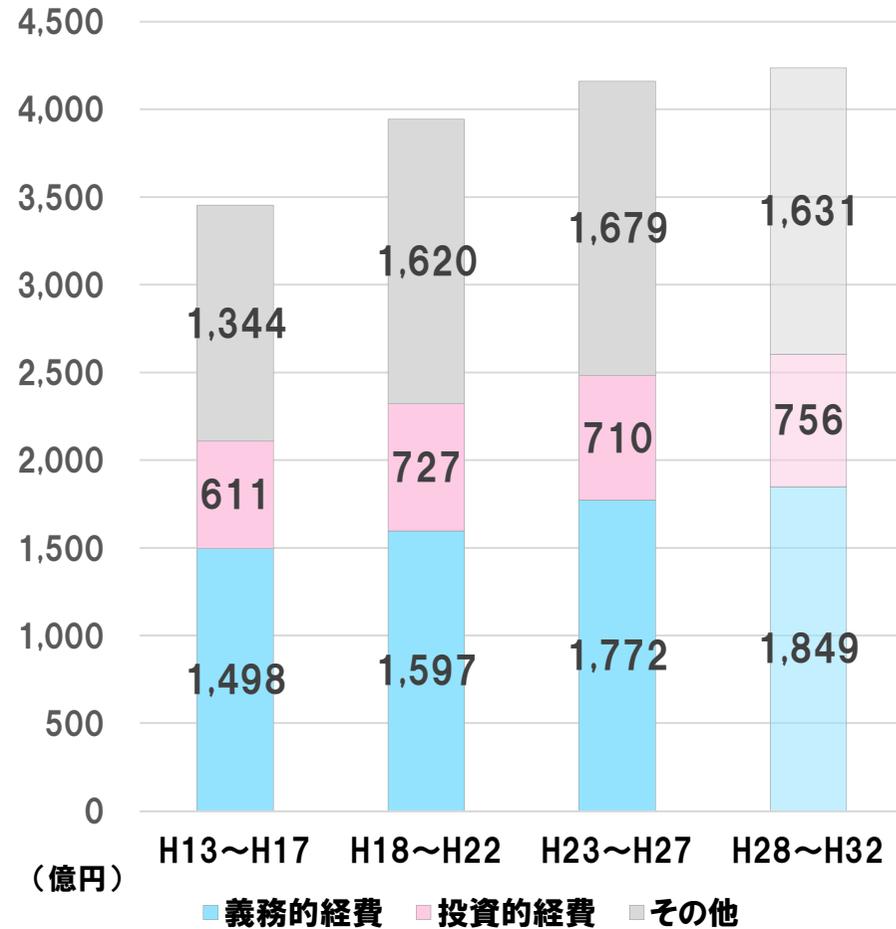


富士市の財政

▼ 歳入の推移

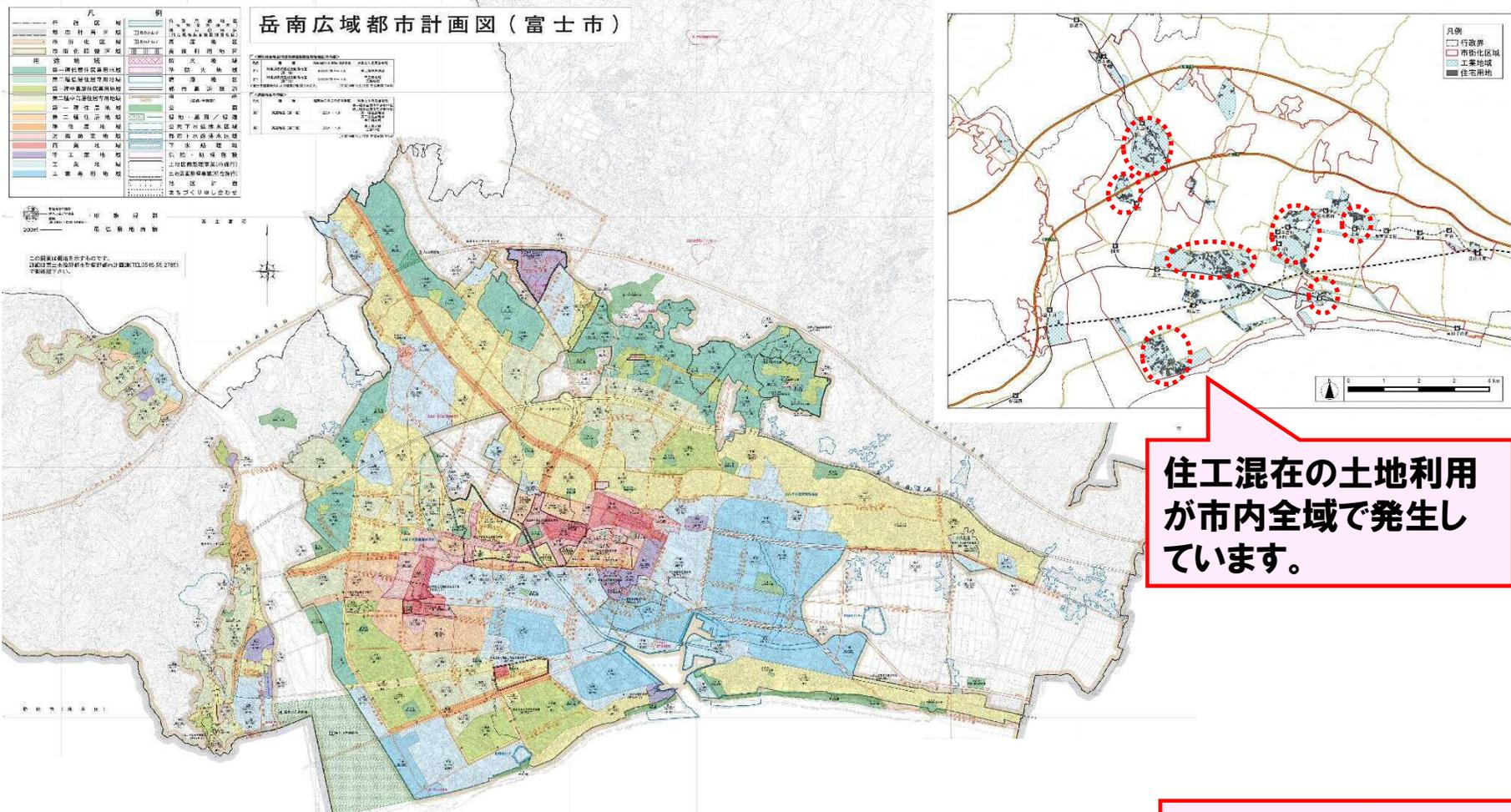


▼ 歳出の推移

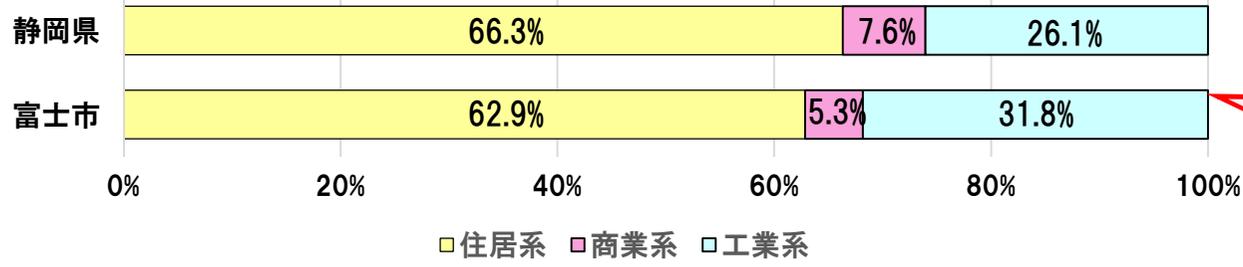


- ・高齢化の進行等を背景に社会保障費等の**義務的経費は増加**
- ・H28~H32の**投資的経費の増加は、新環境クリーンセンター建設が主な要因であり、公共施設の更新等に充てられる予算は限定**

富士市の土地利用等

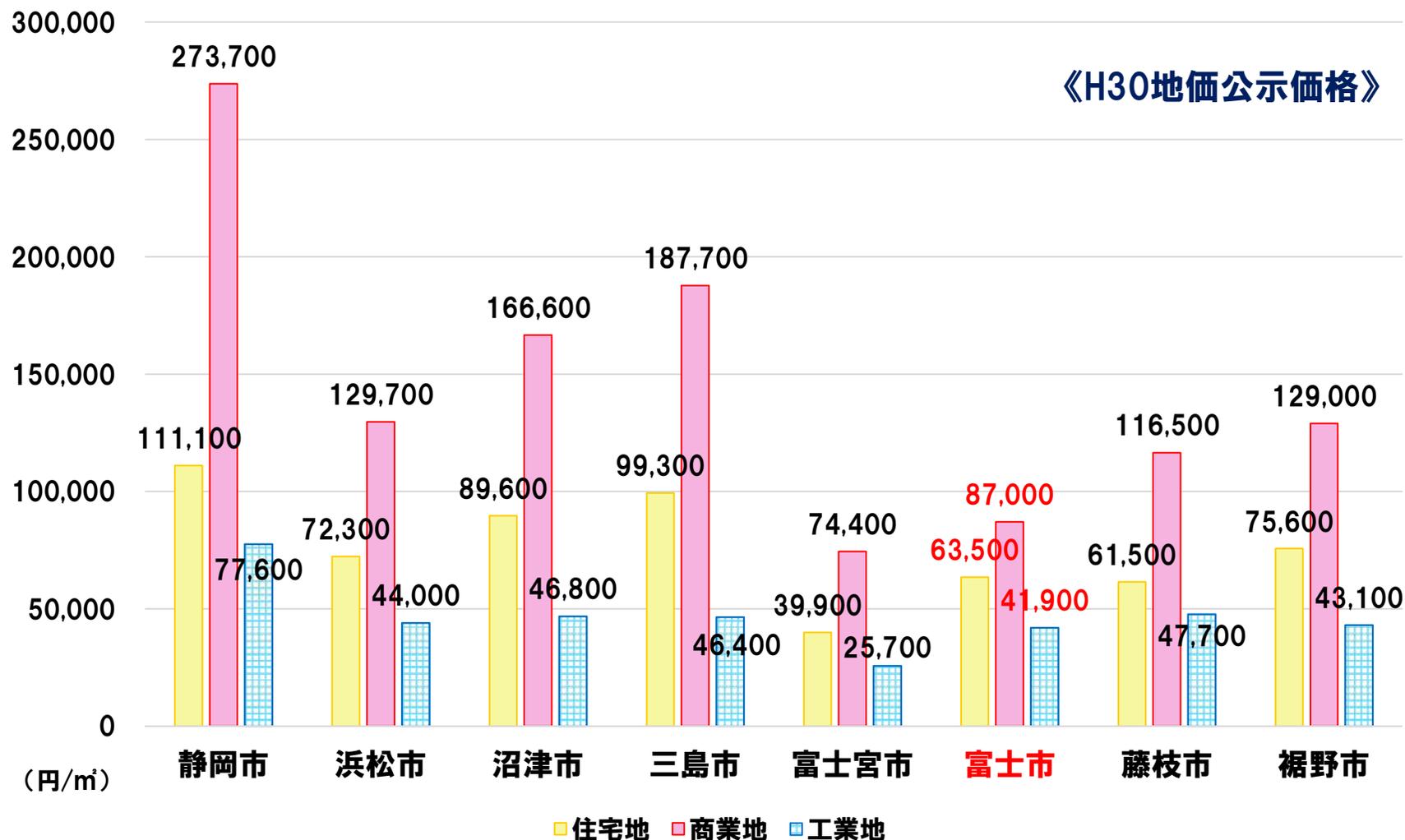


住工混在の土地利用が市内全域で発生しています。



県平均と比較して、工業系用途地域の占める割合が高い状況にあります。

▼ 県内他市との地価の比較

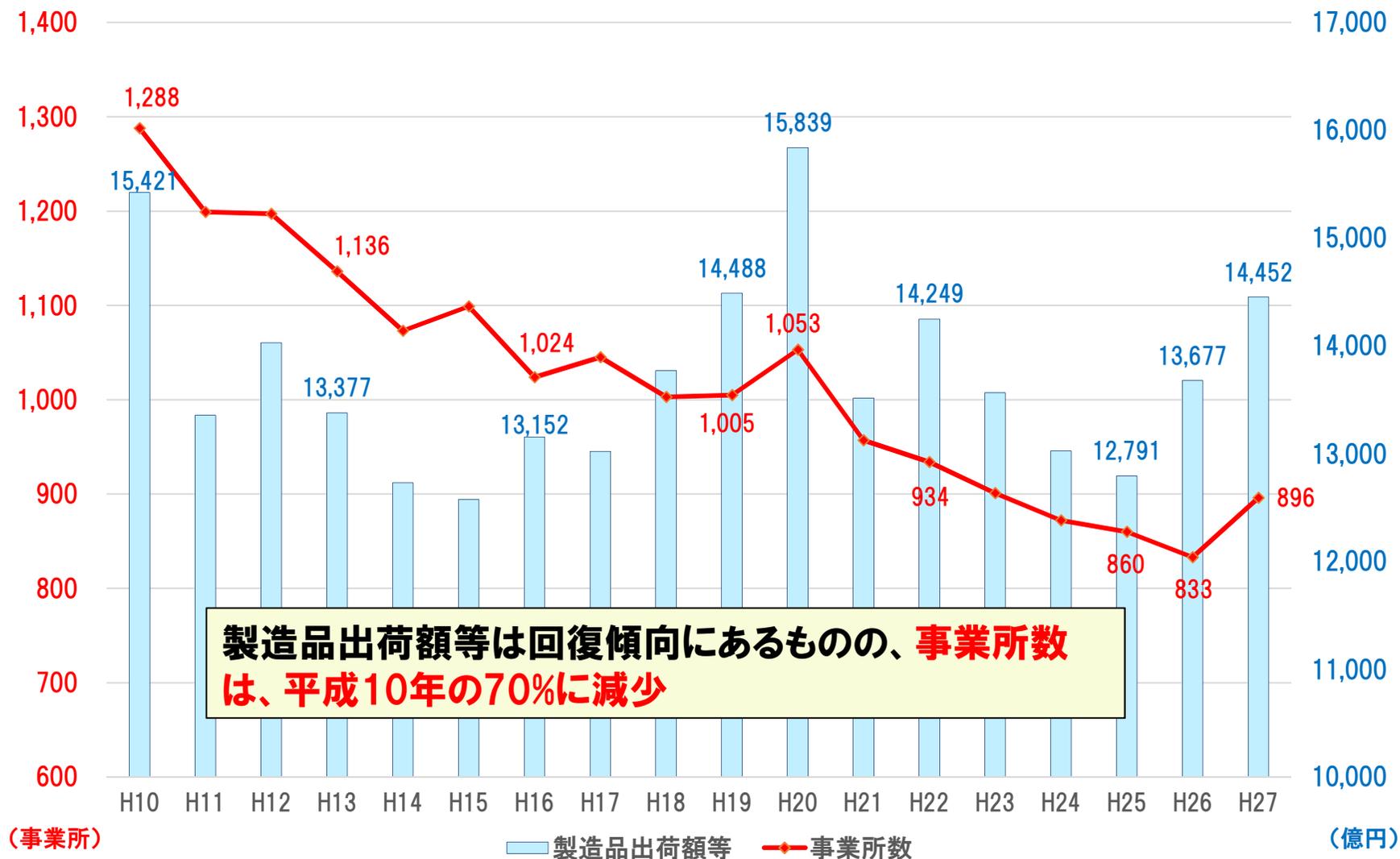


地価は、都市の暮らしやすさや魅力が反映されますが、**住宅地・商業地ともに、他市に比べ低い値**にあります。

統計から見た富士市の工業

▼ 事業所数・製造品出荷額等の推移

※ H19以前の数値に旧富士川町分は含まない



▼ 事業所数ランク

産業中分類	事業所数	割合
パルプ・紙	217	24.2%
生産用機械	133	14.8%
金属製品	92	10.3%
プラスチック製品	63	7.0%
はん用機械	45	5.0%
輸送機械	45	5.0%
食料品	44	4.9%
化学工業	31	3.5%
電気機械	30	3.3%
飲料・たばこ・飼料	27	3.0%

▼ 製造品出荷額等ランク

産業中分類	製造品出荷額等	割合
パルプ・紙	4,318	29.8%
輸送機械	2,773	19.1%
化学工業	2,214	15.3%
はん用機械	1,218	8.4%
食料品	913	6.3%
生産用機械	619	4.3%
プラスチック製品	512	3.5%
金属製品	435	3.0%
鉄鋼業	383	2.6%
飲料・たばこ・飼料	333	2.3%

(億円)

▼ 従業者数ランク (H27)

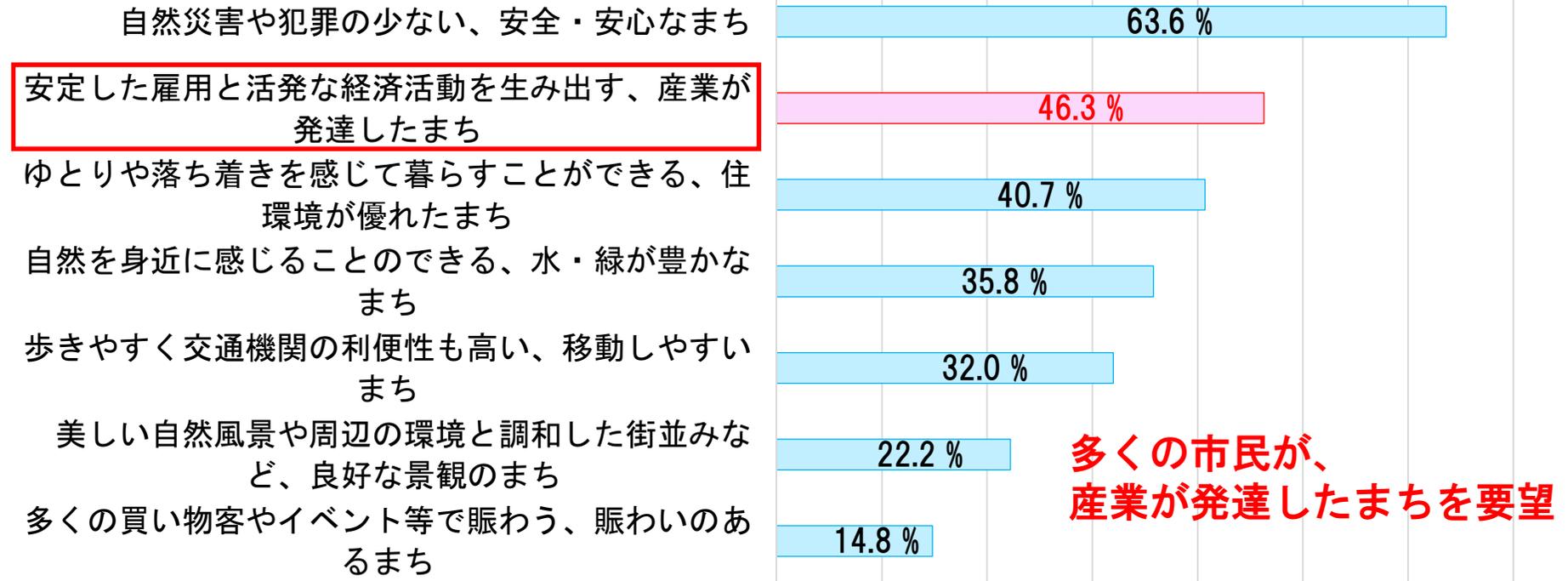
産業中分類	従業者数	割合
パルプ・紙	8,467	23.4%
輸送機械	6,773	19.8%
食料品	3,818	12.3%
生産用機械	2,852	7.5%
化学工業	2,775	8.0%
プラスチック製品	1,946	5.6%
はん用機械	1,895	5.2%
金属製品	1,497	4.9%
電気機械	749	2.5%
鉄鋼業	599	1.4%

パルプ・紙産業が占める割合が高いものの、比較的、**バランスが取れた産業構造が形成**されています。

市民・事業者の意向等

▼ まちづくりに関する市民の意向(都市計画マスタープラン策定に伴う調査)

N=1,356



▼ 富士市は、活気がある工業都市だと思いますか？(第五次富士市総合計画後期基本計画策定に伴う世論調査)



「そう思う派」が40.4%から30.4パーセントに後退

▼ **第2次富士市工業振興ビジョン策定に伴う事業者の意向
(市に期待すること、自由意見)**

- 大企業の誘致、留置
- 企業立地促進奨励金制度の継続と充実
- 安価な工業用地の整備
- 住工混在の土地利用の解消
- 道路や河川、下水道の整備
- 新製品開発に対する助成制度の充実
- 資金調達面での支援制度の充実
- 多種多様な分野の産業の創出
- 誘致企業と地元企業のマッチング機会の創出
- 地元の人材を育成するための支援 など

富士市の工業の課題の整理

事業者及び従業員の確保

- ▶ 起業・創業の活発化
- ▶ 企業の誘致・留置
- ▶ 雇用の創出・拡大

製品・技術等の高付加価値化と販路の確保

- ▶ 新製品・新技術の開発
- ▶ 知的財産権の積極的な活用
- ▶ 国内外における販路の開拓・拡大

強固な経営基盤の構築

- ▶ 経営革新
- ▶ ものづくり人材と後継者の育成

企業間連携・支援機関間連携体制の構築

- ▶ 新製品・新技術における多様な業種との連携
- ▶ 支援機関の連携による支援の充実

良好な創業環境の確保

- ▶ 住工混在の解消
- ▶ 道路・河川事業等の整備推進

ものづくりのまち 富士市の持続的発展

行政計画(工業関連)について

今後も、本市が持続的なものづくりのまちであるために、各種の行政計画において、工業振興に向けた方針や施策を位置付けています。

第五次富士市総合計画 後期基本計画 (H28～H32)



各論第3章産業 第2節工業
～ 地場産業の振興や新産業の創出
により躍動するまち ～

富士市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略 (H27～H31)



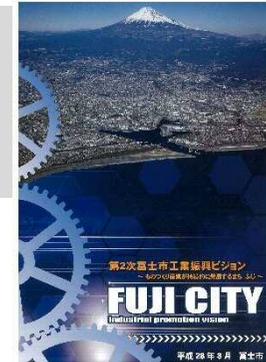
基本目標1
～ 活力みなぎるしごとづくり ～

両計画・構想では、本市の重要課題である「若い世代の人口の確保」を最上位目標に掲げ、展開する諸施策の中に、

- ▶ 工業立地環境の整備
 - ▶ 企業等の活性化支援
 - ▶ 新産業創出への支援
- を位置付け、**CNFをはじめとする新素材の研究・開発等の支援を行うことと**しています。

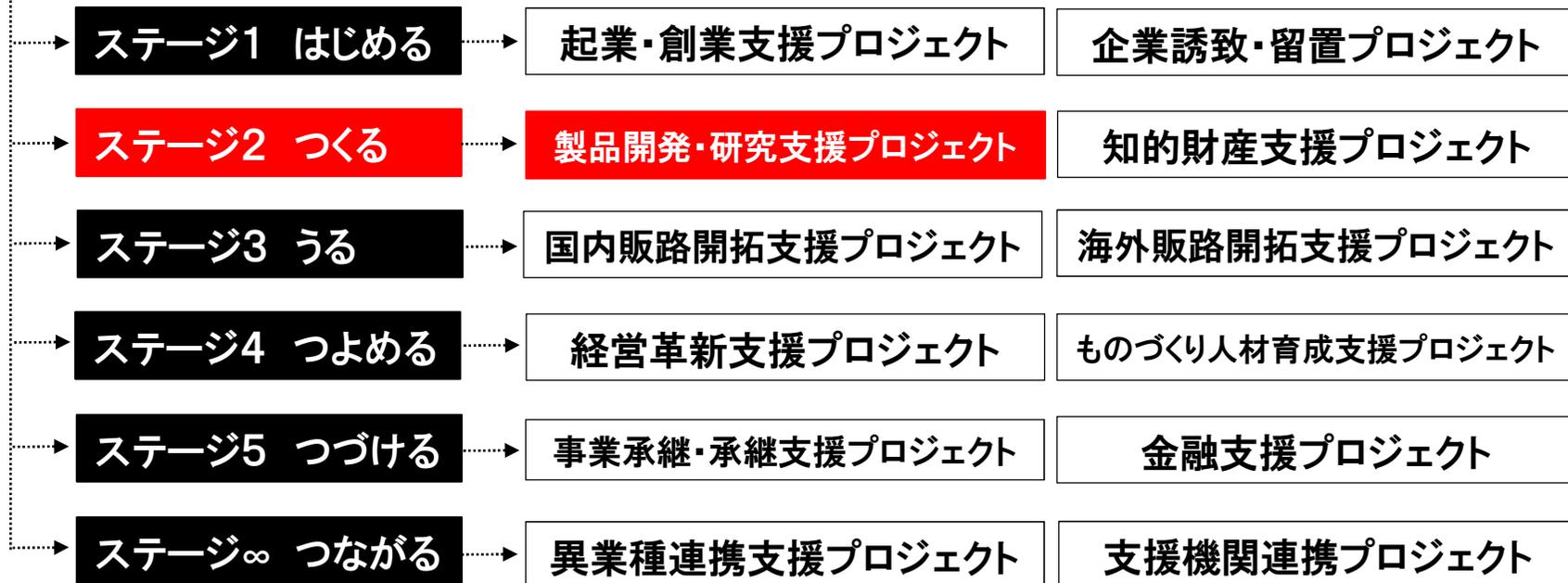
第2次工業振興ビジョン(H28～H32)

～ものづくり産業が持続的に発展するまち ふじ～



基本理念

ものづくり産業の持続的な発展をめざして



－ 製品開発・研究支援プロジェクト －

市内企業がより高付加価値な製品や生産技術を活発に作り出すことのできる環境を整備するため、セルロースナノファイバー（CNF）をはじめとする新素材・新製品の開発や研究の支援、知的財産の取得や知的財産を活用した事業展開の支援に積極的に取り組みます。

静岡県経済産業ビジョン(2018～2021)

～「人」と「富」の創出により、経済を持続的に発展させ
県民の豊かな暮らしを実現する「美しい“ふじの国”」～

戦略1 産業人材の確保・育成

戦略2 次世代産業の創出・成長産業分野の参入促進

戦略3 中小企業・小規模企業の経営基盤強化

戦略4 農林水産分野のルネサンス

戦略5 通商の拡大と海外活力の取り込み

戦略6 エネルギーの地産地消の推進

《主な取組》

- ・ものづくり人材サポート拠点の整備
- ・静岡大学寄附講座でのCNFの研究開発を担う人材の育成
- ・産学官の連携による研究開発や製品開発の支援、製造拠点の形成（CNF関連産業分野）
- ・サービスロボット分野の研究開発や事業化支援
- ・国内外への販路開拓支援など

富士市のCNF関連施策・取組について

各種行政計画等に基づき、市では、CNFの開発・研究への支援、情報収集・発信に努めています。

■ 富士市CNF研究会の開催

「基本的知識の習得」、「情報の共有」、「企業、研究者等とのマッチング機会の創出」を目的に、これまでに計3回のCNF研究会を開催しています。

《第3回CNF研究会》

- ・ 平成30年3月27日（火）
- ・ 富士市交流プラザ
- ・ 講演「CNFの特徴と応用事例」
（株式会社スギノマシン）
- ・ 市内企業の取組紹介 など



■ 実用化促進に向けた補助金の創設と運用

① 産学連携CNFチャレンジ補助金

CNFの用途開発に関する高等教育機関、試験・研究機関、CNF製造企業等との共同研究・開発にかかる経費の一部を補助（上限100万円）します。

② CNFトライアル事業補助金

CNFの実用化に向けた試行に取り組む中小企業者等を対象に、CNFサンプル購入費用の一部を補助（年額10万円まで）します。

③ 研究開発用CNF製造設備整備費補助金

CNFの研究開発を目的とした製造設備の購入費用の一部を補助（上限500万円）します。

また、CNFをはじめとした成長分野については、**企業立地促進奨励金の優遇措置**を設けています。（用地取得費補助率を30%に引き上げる等）

CNFの情報収集・発信と産学官の連携強化

- ・ ナノセルロースフォーラムへの参画
- ・ ふじのくにCNFフォーラムへの参画
- ・ 静岡大学「ふじのくにCNF寄附講座」への出席
- ・ ものづくり力交流フェアでの啓発
- ・ 市ウェブサイトによる情報発信
- ・ 市庁舎内への展示コーナーの設置



これまでの取組を飛躍させ、より効果的な地域産業振興と地域への波及効果を高めるために「**富士市セルロースナノファイバー関連産業推進構想**」を策定します。